

CASBEE-広島（2010年ver.1）
広島特別支援学校

 用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル：CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト：CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
				評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質								3.8	
Q1 室内環境					0.40			3.6	
1 音環境				3.9	0.15		-	3.9	
1.1 騒音				4.0	0.40		-		
1 暗騒音レベル		38dB以下	4.0	1.00		-			
				-		-			
1.2 遮音			4.3	0.40		-			
1 開口部遮音性能		T-2以上の建具を使用	5.0	0.30		-			
2 界壁遮音性能		Dr-40を使用	4.0	0.30		-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		Lr-55を使用	4.0	0.20		-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		Lr-55を使用	4.0	0.20		-			
1.3 吸音			3.0	0.20		-			
2 温熱環境			3.3	0.35		-	3.3		
2.1 室温制御			3.8	0.50		-			
1 室温設定		室内への熱の進入に対して十分配慮している	3.0	0.60		-			
				-		-			
3 外皮性能			5.0	0.40		-			
4 ゾーン別制御性				-		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
2.2 湿度制御			1.0	0.20		-			
2.3 空調方式		「ひかりのひろば」[屋内運動場]に床吹き出し方式を採用	4.0	0.30		-			
3 光・視環境			4.1	0.25		-	4.1		
3.1 昼光利用			5.0	0.30		-			
1 昼光率		2.5%以上	5.0	0.60		-			
2 方位別開口				-		-			
3 昼光利用設備		トップライトの設置及び昼光利用による照明調光制御を採用	5.0	0.40		-			
3.2 グレア対策			3.0	0.30		-			
1 眩光発生防止				-		-			
2 昼光制御			3.0	1.00		-			
3.3 照度			3.0	0.15		-			
1 照度			3.0	1.00		-			
				-		-			
3.4 照明制御		フル2線制御システムを採用し点滅の制御の変更調整が可能	5.0	0.25		-			
4 空気質環境			3.7	0.25		-	3.7		
4.1 発生源対策			3.0	0.50		-			
1 化学汚染物質			3.0	1.00		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
4.2 換気			4.6	0.30		-			
1 換気量		30m3/(h・人)の換気量を確保(対建基法の1.4倍以上)	5.0	0.33		-			
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積50cm ² /m ² 以上	4.0	0.33		-			
3 取り入れ外気への配慮		OA取入口から6m以上の離隔を取って排気口を設置	5.0	0.33		-			
				-		-			
4.3 運用管理			4.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		手動測定システムが有効に機能している	3.0	0.50		-			
2 喫煙の制御		全館禁煙	5.0	0.50		-			
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.7		
1 機能性			4.1	0.40		-	4.1		
1.1 機能性・使いやすさ			5.0	0.40		-			
1 広さ・収納性		バリアフリー認定取得予定		-		-			
2 高度情報通信設備対応				-		-			
3 バリアフリー計画			5.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性			3.0	0.30		-			
1 広さ感・景観			1.0	0.50		-			
2 リフレッシュスペース		内装計画の事前検証を実施		-		-			
3 内装計画			5.0	0.50		-			
1.3 維持管理			4.0	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		内装床にハイドロテクトタイルを使用している	4.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		天井隠蔽機器の点検口が600mm×600mm以上	4.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性			3.5	0.31		-	3.5		
2.1 耐震・免震			3.8	0.48		-			
1 耐震性		基準より20%増の耐震性を確保	4.0	0.80		-			
2 免震・制振性能			3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数			3.3	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23		-			
2 外壁仕上材の補修必要間隔			3.0	0.23		-			
3 主要内装仕上材の更新必要間隔			3.0	0.09		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出ダクト、厨房EAの全てにSUSダクトを採用	4.0	0.08		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.15		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23		-			

	2.3 信頼性				-		-	
	2.4 信頼性			3.4	0.19		-	
	1	空調・換気設備	耐震クラスS	3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		5.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.3	0.29		-	3.3
	3.1 空間のゆとり			4.0	0.31		-	
	1	階高のゆとり	階高3.75m取っている	4.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長比率0.15	4.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.38		-	
	1	空調配管の更新性	屋外室外機更新の為の作業スペースを敷地北側に確保	3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	-	4.1
1 生物環境の保全と創出		緑地面積を多く取り、水遊び場も設置	3.0	0.30		-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺の景観に配慮している	5.0	0.40		-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30		-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		充実した取り組みを行っている	4.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		緑地・水面等面積率が20%以上	4.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	-	4.0
LR1 エネルギー			-	0.40		-	-	4.3
1 建物の熱負荷抑制		PAL値=246.4	4.0	0.30		-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			4.5	0.20		-	-	4.5
2.1 自然エネルギーの直接利用		自然採光・自然換気を利用している	5.0	0.50		-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		太陽光発電設備100KWを設置	4.0	0.50		-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=21.1	4.0	0.30		-	-	4.0
4 効率的運用			5.0	0.20		-	-	5.0
4.1 モニタリング		システム効率・性能評価の実施	5.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制		運営・保全・維持計画、年間エネルギー消費量の目標値計画の実施	5.0	0.50		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.15		-	-	3.4
1.1 節水		節水型器具、擬音装置の採用	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	-	
1		雨水利用システム導入の有無	3.0	0.67		-	-	
2		雑排水再利システム導入の有無	3.0	0.33		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63		-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		タイル(外部床、浴室壁・床)、OAフロア、コルクシート(コルクボード)	5.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		分別が容易に出来る	5.0	0.24		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22		-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68		-	-	
1		消火剤	-	-		-	-	
2		断熱材	5.0	0.50		-	-	
3		冷媒	3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	-	4.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が80%以下	4.6	0.33		-	-	4.6
2 地域環境への配慮			4.2	0.33		-	-	4.2
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		保水性・透水性舗装面積率が15%以上	5.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25		-	-	
1		雨水排水負荷低減	-	-		-	-	
2		汚水処理負荷抑制	3.0	0.33		-	-	
3		交通負荷抑制	5.0	0.33		-	-	
4		廃棄物処理負荷抑制	4.0	0.33		-	-	
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33		-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1		騒音	3.0	0.33		-	-	
2		振動	3.0	0.33		-	-	
3		悪臭	3.0	0.33		-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.3	0.40		-	-	
1		風害の抑制	3.0	0.70		-	-	
2		日照障害の抑制	4.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	-	
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70		-	-	
2		昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	-	